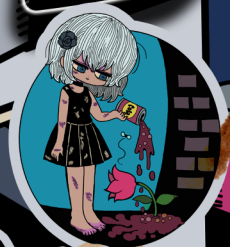


声学的冒险剧
制作后记。

The Anatomy of an Acoustique Love Story

超静空间



Quietude.

まえがき

まず、このPDFは思い切りネタバレするのでまだ全部聞いてない人はあんまり読むべきでなくて、**Command+Q**なり**ALT+F4**などを即座に押して見なかったことにしたほうが良いかもしれない。

ネタバレありきで楽しめる人でも、不真面目かつバカが馬鹿なことを言った的な内容がこのあと続くのであんまり読むべきでもないかもしれない。

手短に言うと千葉の浦安らへんにいるアメリカネズミが頭を脱ぐような内容である。

本PDFはそういったネタバレやらしょうもない大放談と、同人音声の編集を行いたい人がそれなりにいるらしく、そういう人にこれどーやってんのとか言われがちであるので、手前味噌ではあるがその説明のために残しておく感じのものである。

ああノイズ除去？そういうのはYoutube見ると良いよ。いっぱいあるよ。

さて出た。

いや違う、出した。

ずっとずっと自分の作品をだしたくて録ったけど、忙しいなどの理由で死蔵してたり、書いては置き、書いては置きをしているうちに4,5年も経ってしまった。

2021年の8月初旬にねこの手スタジオさんに自前の機材を持ち込んでかの仔さんの声の収録、その後さまざまな効果音の録音やら生成やら編集を経てこれができあがった。

本来10月の終わり頃に出せりゃいいなとか思っていたが、思いの外作業量が多かったり、前ほど動けなかったり、お金がなかったりして色々行き届かないところがあったり（例えば砂浜に飛び降りて戻ってくるところとか）計算が合っていないのか出力結果が自分の聴覚との違いがあったりしてなかなか進まなかったりと何度も暗礁に乗り上げたが、まあそういうときは使い古した手や使い古した素材でどうにかやりくりして完成させた。

でもその割には音声とは全く関係ないところのパロディなんかも入ってたり。

上手く行かなかったところもそれなりにはあるが、手にとっていただけて本当に僕としては幸い。

いろいろなことがあって、打ちひしがれたり、仕事落としたり、かつてのように元気にできなくなったり別方面のことが忙しくなったり色んな事があったけど、そういう自身のダークサイドな部分を自身の炉にくべて燃やしてそれでいろんなものを溶かして取り出して形作る感じで出せてなんとか。

気をつける煙を吸い込むと死ぬ。

あと、これが売れたらなるべく人の仕事を受けないで自分で切り盛りしていけたらなあとか思っている。

そういう意味で自分の転換点になったらいいなあとか思ってる次第。

なので、いろーんな人に迷惑をかけてごめんなさいとか思ったり。

台本については、まず最初は外注に出してみただけだけど、それは決して悪い出来ではなかったし、どっかの誰かがそのままりリースすりゃけっこういい感じのセールスを記録しそうな感じではあったのだけど、完成されているという点がよくないというか、同人音声らしい同人音声の台本であるところが足を引っ張って、理由は後述の通りでよくなかったのでギャラと申し訳を添付して戻した。

次に行ったのは今まで名前出てないのや細かな用事も含めると人間の煩惱の2倍くらいの数の音声に関わって、その台本を未だにアーカイブしているのだけれども、その珠玉の台本たちすべてを参考にして1つのスプレッドシートにまとめた。

が、けっきょくすべての台本を全然参考にせずに書いた。

キメラ台本を作った場合、確かにささる人間の数は増えるんだろうけど、今度は逆に僕が面白くなくて投げちゃうというか、だいたい使い古したテーマに使い古した音に使い古した編集となるわけで、僕のやりたい話はもっと別のところにあるとかそんな風に思ったからだ。

そんでもって、玉枝ミウという黒くて細くて**風呂に入らない**登場人物を作り、技術的にこーいうことができるんじゃないかなあ...みたいに思っていたことを各所に散りばめていくうち、まとまりのないとっちらかったキャラになってしまった。

最終的に聞いていて「こういうキャラも無くはない」程度に纏まったからいいか。属性みたいなものがあんまりないなこいつ。精々貧乳とか褐色とかそんな話に思う。

絵についてはせっかく初作なので豪華にしたいくて2人のイラストレーターさんに依頼した。

やたら自分の機材やコンピュータに識別の意味も込めて（とくにMacbookの奴は他人のやつと見分けが付かなくなる）ヨシジマシウさんのシールを貼ったりするのだけれども、ずっとずっとこの人に描いてほしくて床をゴロゴロ転がったりしていたので僕の中の加水分解してべたべたのケーブルと機械のグリスにまみれた汚い部分をぶちまけてお願い。

よくわからないテーマを押し付けて申し訳ない感じなのだけれども、いい感じに艶かしくあの感じに仕上がってありがたいことこの上ない次第。

火を貸してくれないかい？

ジャケのほうはというと、うにモンさん。

前からほっそりした褐色の女の子の褐色ちゃんや時々蹴り技を繰り出すメイドちゃんががいいなあとか思っており、これまた汚い部屋に住んでるちょっと技術方面に明るいアナル好きのスリーサイズ貧乏貧乏のこういう感じでと自らの脳内の大変にいやらしい部分をぶちまけてお願い。

なお、**ぼくの家**の棚と机とコンピュータがまんま描かれてたりしてる。

流石にゴミ袋はあんなにない。でもまあ今床を見たらRadeonのカバーだけ転がってるし似たようなもんか。

二方とも目に入れても痛くないほど可愛いので右左両目に入れようと思う次第。

あと、今回の主演を務めていただいたかの仔さん。僕のいい加減な台本をこういう感じで音声作品としてうまく機能してくださるように演じてくださって本当に頭が下がる思い。全体的にダルーっと低い声のダウナーな感じだけれども、どこことなく信念みたいなものはしっかりある雰囲気を感じていただければ。

好きなセリフは砂浜の「あゝ？」と「自然を愛さない〜」

あと、やっぱり素晴らしい作品のリリース歴が連綿とあったりしてでバイノーラルマイクの使い方がとても上手いと思う。声優業はマイク芸込みというか、いかにしてマイクに声をアテてゆくかが本当に行き届いていて素晴らしい感じでありました。特に接近するところ。

まあ、前書きが長すぎてもアレなのでトラックについての思いの丈へに行こうかと思う。

これを作った目的の1つとして、新しい表現手法を見いだしたいというものがあったり。とうの昔に完成された同人音声というものをもうほんの少し、肉感的にしたい。

...そんな願いがあったりなかったり。

全体の仕様書き

収録→ DSD256

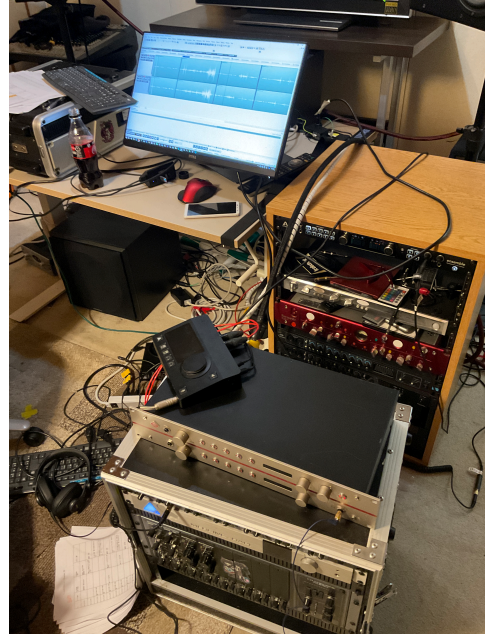
編集→DXD

出力 DSD64/DXD→48kHz

英語字の動画→48kHz→AAC 320kbps

効果音の収録→なるべく高いレート

という具合で行った。
したがって半分ハイレゾという感じの音声である。



マイクがKU100だけに内部に実装されたローパスにより声やフィールドレコーディングの周波数特性が20kHz付近どまりである。加工中にピッチ下げりゃ上限も下がる。
その他の一部フィールドレコーディングや効果音についてはある程度周波数特性が保ててはいるものの、頭部伝達関数を通したりとかノイズの都合上、またはローパスを駆使した結果、あってもなくても過渡特性に大して影響しない成分やノイズが少し残る程度の運びとなった。

ハイレゾは実はどれだけ高い周波数が入ってるとかそういう話でもなく、時間軸の情報がファイルの時点により詳細に刻まれたデータとか思えばよい。

しかしながら10kHzの矩形波を想像するとわかりやすいのだが、矩形波が矩形波として存在するにはどうしても30kHz...50kHz...と奇数倍音が必要であり、40kHz付近でローパスされた本作ではそういった過渡特性情報が壊れてしまっているのではないかという懸念もある。

ただ、2Lらへんのハイレゾガチ勢音源を適当にアナライザに投げると本作とあんまり周波数特性は変わらず、**わりとこんなもん**であるともいえる。

きく分にはDSDと48kHz、微妙に違うとしか言えない。

それは果たしてファイルがDSD=時間軸の分解能がとても高いからであるからなのか、またはDSDデータを受け取ったDACの挙動によるものなのかはわかりかねるが、聞いた感じちょっと違うしまあいいかということで。

ぶっちゃけ、フォーマットなんざいい音で録音しようとか、いい音で編集しようとするノウハウや手法に比べりゃ微々たる差でしかないな。

録音（声も含む）、編集はスイスのMerging社のPyramixというソフトで行っている...が、編集段でどうしてもシーケンスを組まねばならず、MIDIシーケンスということが一切できないPyramixのみでやるのは無理だと断念し、FLSTUDIOのシーケンサにて効果音の配列を行った。作業サンプルレートは96kHz。

あんなに言う事聞かないクララ（スイス在住）と比べて妙に作業性が高くて驚く。

某スタジオのボスが昔の職場で使っていて「**ああ...あれは基本的な機能しかないよ...**」と漏らしていて、実際に自分で使った感想もまさしくそんな感じで、他DAWにはあるのにPyramixにゃない機能が多い。

しかしながらPCM to DSDレンダーやDSDをリアルタイムで変換してモニタしたり、一部分だけPCMに変換してフェードイン・アウトして再度DSDとして出力とか、やたら豪華なフェードイン・アウトやクラシックコンサートの興行などの何本ものテイクを1本に仕上げるための唯一無二の機能も多かったりする。あと地味にADRも良い。

ただ困ったことに僕の作風というのは少ない録音と少ない運動量をDAWを駆使してカバーするというやり方なので、自分のやり方にあんまり向いてないDAWともいえる。だいたいサイドチェインやピアノロールすらないからな！あとVSTプラグインのオートメーションになぜか延滞補償がきかないというか、プラグインバッファに設定した数値ぶん律儀に遅れる。**なんでだよ！**

つまりは「ないテイクを作る」ということが出来ないわけだが、ないならないで他のDAWを使って「ないテイク」を構築すりゃいい話で、Pyramixには強力なOS上でのルーティング機能や他のコンピュータに立ち上げたDAWにSyncを送ってオーディオの入出力ができたり、Rewireが使えるたりローカルのDAWの出力をPyramixのミキサーにルート出来たり、予め他のDAWと併用できる機能が備わってる。

が、今度はFLStudioのほうでsyncに対応しておらず、Rewireもプラグイン版もうごかない...というか、うごきゃせども手動でトランスポートを同期させる必要があるといった体たらくなのでパラデータで書き出して並べることにした。

したがってこの音声は352.8Khzと96kHzの混在する半分DXDがベースになったDSDみたいな作りになっている。

まあ、そういう背に腹が替えられない事情があったり。

でもそのうち全部DXDとかもやってみたい。お金も時間もかかるだろうけれども。

トラック 1

このトラックのテーマ「フェラパートという編集時手抜きができるパートで敢えて手抜きをしないのはどうか？」

雨の中を傘をさして歩く。

同人音声のモノログめいた効果音のみで構成されるシーンをととても愛しているのだが中々だれもやってくれない。自分も3回位しか作ったことがない。

インターホンのガビガビした音は例によりAudio Easeの畳み込み製品群。

ノイズ除去については、DXD (352.8kHz/32bitf) の巨大なファイルであるので台本1ページずつ録音したファイルを裁断し、ステップバイステップでリップや衣擦れをとっていった。ノイズはきれいに取るほうが理想的である旨告げられているので若干普段より大盛りのパラメータである。

したがってやや失われた質感的な情報や定位があるが（特に吐息とか）、色々こねくり回した結果、リダクション量でかめかつ音質的に妥協できる点に到達した、これに関してはiZotopeのRXを使い慣れるしかないというたったひとつの冴えないやり方でやるほかない。

リップならばDeClickやMouthDeclickの他にSpectral RepairやInterpolate、

もしくはバッサリカットして波形の帳尻を合わせてどうにかする。

衣擦れはDeconstructとSpectralRepair。多分みんながやってることとあんまり変わらん。

変わったことをやったかといえば、定位によってはマイクスタンドが鳴っているのかどこかに跳ね返っているのかわからないが、の基音付近が尾を引いていることがあり、それをDeconstructにて除去したくらいか。

全体的に同じ処理。寝息や小さな吐息のトラックor箇所だけは巻き込みやすいので処理緩め。

さて、環境音の目的はなにかと言われた場合、1つは情景の描写であるが、もう一つは**ノイズをマスクして聞こえなくすること**。

試しに-70dB(RMS)程度のホワイトノイズを作って、そこに適当な環境音を重ね、そのゲインを上げ下げしてみると、あるポイントでノイズが聞こえなくなったりまたは聞こえるようになってたりする。

いつも同じ環境音が鳴ってるあのへんとかも概ねはそういう理由だ。

しかしこまったことに玉枝の家は常に機械が稼働しており、さらに雨まで降っているので試しにノイズ除去ゆるめverに挿し替えてみてもよくわからんという事態。まあ聞こえなきゃ良いんだ聞こえなきゃ。というわけで自分を騙しつつ次。

主人公がくさい家に入ると家の中っぽい音になる。外と合わせて4個のリバーブと1つのディレイを組み合わせて再現しているわけだが、ここで主に使われたのはAudioEaseのAltiverbとLiquidSonicsのCinematicRoom Pro。

片方は畳み込み方式、もう片方はアルゴリズム方式のリバーブで、両者に得意不得意がある。

閉められたドアの向こうの描写は概ねはAltiverbのほうで解決できる。Mix比率や定位マネージャを駆使すればドアを開いている最中の音なんかも描写しやすく気に入っている。

そして部屋の中をくさいのが遠ざかったり近づいたりする描写はCinematicRoom。これはアーリーリフレクションのみを使用し、その比率をコントロールする。

遠くなら多く、密着状態ならばゼロかその近似値といった具合だ。

そしてリバーブのテールはAltiverbで再現するというあわせ技にて行っている。防音されてない部屋の雰囲気は伝わるならば幸い。

当然オートメーションを山程書くことになるので工数的なものは実際にドラマのように演技してもらって録音と据え置き。

そして玉枝はチンポ出せ！とか言うわけだが出してチン嗅ぎから顔埋めはむはむ→フェラするさいの効果音、これはさすがに衣擦れ音を切っては貼り切っては貼りしていると来世にご期待くださいとなりそうな程度に時間がかかりそうなのでセリフをエンベロープフォロワーにサイドチェインして再現。

僕は効果音の人だと思われがちだが実際録音が得意ではない。わからんことが多い。

その上今、諸般の事情で運動能力が退化しつつあるのでデスクに張り付いたままそういったフォーリーのアクションを再現してやる必要がある。

やり方についてはトラック4-1のページににあるとおりなのだが、音のジャンルにより向き不向きがあるのでそのへんは各自実験。

射精音については入れるか入れないか迷ったが、敢えて入れずに再現したほうが色んな手段が画策できて面白いと思うので、衣擦れとポタポタ精液が垂れる音を入れてみた。

ぶるぶるぶるっ と震える音は自分で録ってみたがいまひとつで（何しろ今、自分は防音環境がないんだ...）しゃあないので4年前に録った衣擦れとボリュームオートメーションで手動で加工。

これについてはFLやPyramixよりもRXのほうが波形やスペクトログラムがリアルタイムで変化するので書きやすくはある。

そしてまだできるでしょ？の巨大な囁きの部分は敢えて巨大。シェルビングで少し低音を持ち上げている。

このトラックについて書くことにだんだん飽きてきたので次行くか。次。

トラック2

このトラックのテーマ「使い古した手法の再構築」

さて、おまちかねの挿入シーン。

バックでこっちを振り向いてる想定なので定位がやや右下。

正直後ろ向きのままやったほうが真ん中でよろしかったかもしれない。

なんべんか言っておるのだけれども僕はどうも女性器で興奮できなくて、後ろの穴専門。

肛門がボッカリ黒穴をあけてるとか、びびゅっと尻からザーメンが泡を吹くとかそういうのが好き。

若年期にシコザルであったためにものすごい遅漏で女性器に挿入したところでまるで温かい泥でしかないわけで、アナルプレイに夢を見ているとかそういう感じなのかもしれない。

または自分にもついてるから想像しやすいとかそういうことなのかも。

エロメディア、ビデオでも漫画でもそうだけど女性器に対して誇張がおおすぎやしないかね？

僕が若かりし頃、ああいうふうな文言を真に受けて駅裏の風俗店が裏オプでとかやって、うーんまるで茹ですぎたモチのようすなあみたいに思ったり、嬢をとっかえひっかえしても結局同じようなコメントしか出なかったり、その4日後くらいに起きて朝イチの放尿をしたら尿道がマグマのように熱くなったりしてお医者さんのお世話になる羽目になったり。そういうもんだったんだよ悲しいことに。

だいたい「くっ！？締まる！」とかどんなに言ったところで自分の右手よりも締まることはありえないし、漫画の中の女性器というのは突っ込んだだけで自動で我々を絶頂に導くかのような描写ばかりだ。もう踊らされんぞ！**戦争と女性器の誇大広告**は世界からなくさなきゃいかんね。

でまあ、久しぶりに会ったわけで玉枝はマメに自らの肛門にプラグを挿して待っている。濡れやすいので玄関に野郎が到着する前から既に濡れているとかそういう設定があるんだがぶっちゃけどうだっていいな。

ちなみにパイパン。みんなが好きだろうとおもうからパイパン。

僕だって大好きさ。

よく風呂に入らなかったり連日徹夜で作業する、外に出る時は買い物以外の理由がないような出不精な女の子なのにパイパンなわけだが、その昔、エロに興味が出る年頃に洋物サイトの投稿動画ばかりみていたからアナル好きでパイパン。しかもワックスで脱毛しているからつつる。

そういやこいつの年齢設定考えてねえや。まあいいか、好きな年齢を想像しなさい。

そしておもむろに机に手をついてケツからプラグをひり出して挿入したところで漏らすわけだがこのトラック中の机ガタガタについては**モノクロ映画のキングコングの挙動**を参考にして録音した。しかし机の音が安っぽいな？もろにパイプ机の音してる。

つくばに住んでいた頃には13万円のそれなりに良いデスクを使用していたのだが、今では7000円の折りたたみデスクである。機能性については全く変わらないけど。

あとはじたばた足音も入れてみたり。女の子ってなんか、そのばでぴよこぴよこする挙動ってあるじゃないですか？ああいうの好き。

まあそれとはかなり関係ないと思うが。

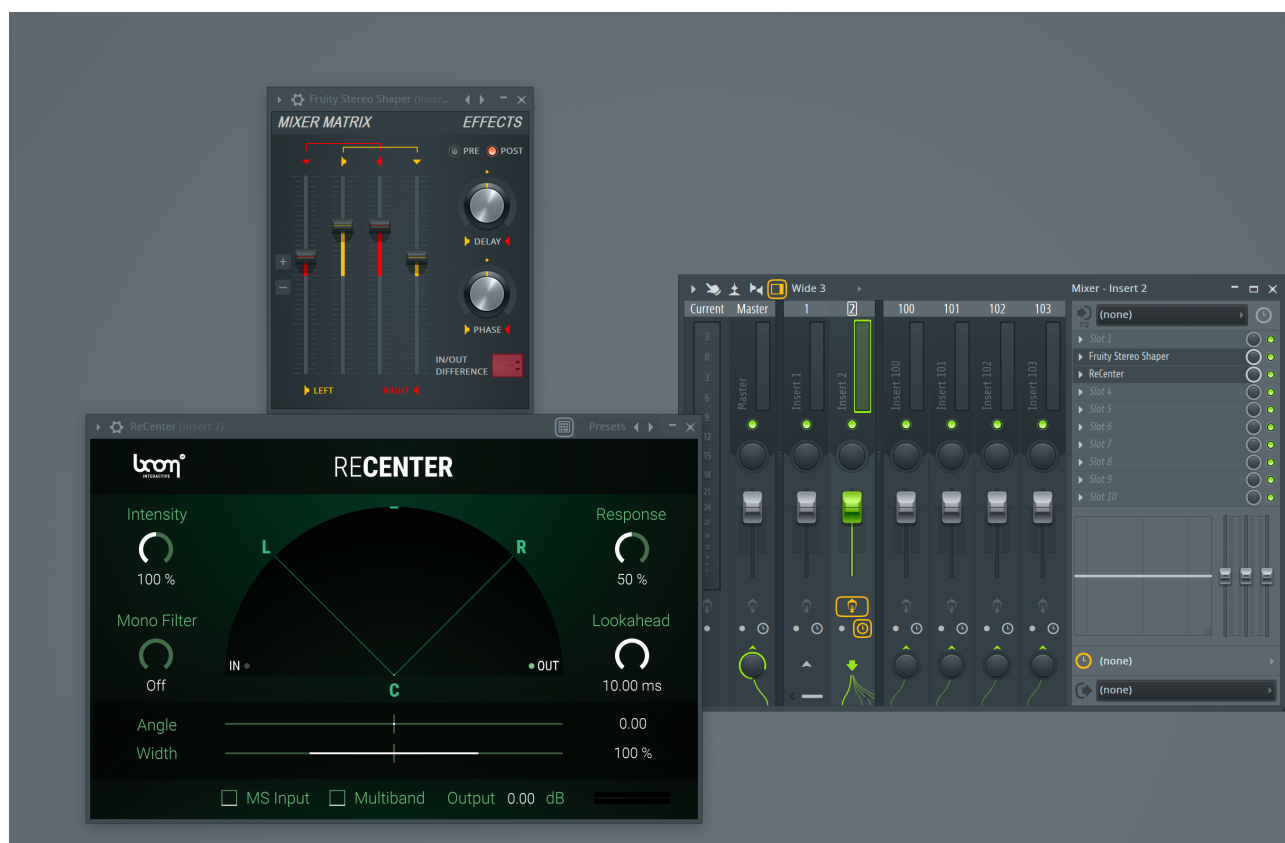
漏らし音については車のさまざまな掃除やアナルプレイに活用できる200mlシリンジを使用。塩ビパイプの先を指で潰してハラでピストンをゆっくり押すと概ねそんな感じの音になる。

あとは例により2発目のおもらしで腰振り音をトリガにしてサイドチェインダッキング。そうすることによりじょっ ばっ ばっ ば といかにも揺れる下半身から放出される感じになる。

防音設備がないという理由で実はそこまで気に入っていない音ではあるんだが、それらしくなったのでまあいいや。

時系列順でいうと少し遡るのだが、腰振り音については安心と信頼の某exeの某ぶにあななわけだが、これを肉体のどっかしらにぶつける音+ゴムチューブ突っ込んで空気を出したり入れたりする音
そして真っ二つに切って断面をこすり合わせる音のあわせ技。

自分の胸部にこいつをぶつけてNeumann KU100で録音してみたが、バイノーラルマイクというものの仕組み上、どうしても左右にひろがっちゃうので



このようなエフェクトで解決。

Fruity Stereo Shaperで右の音を15%ほど左にmix。逆も同じようにmix。

こうすることにより開きすぎたステレオ音像をいくらか狭めることが出来る。

そしてBoomLibraryのRecenter。これは本来軸を外してしまった録音を自動的に追尾して真ん中に持ってくるためのエフェクトだが、こういうときに活用できる。

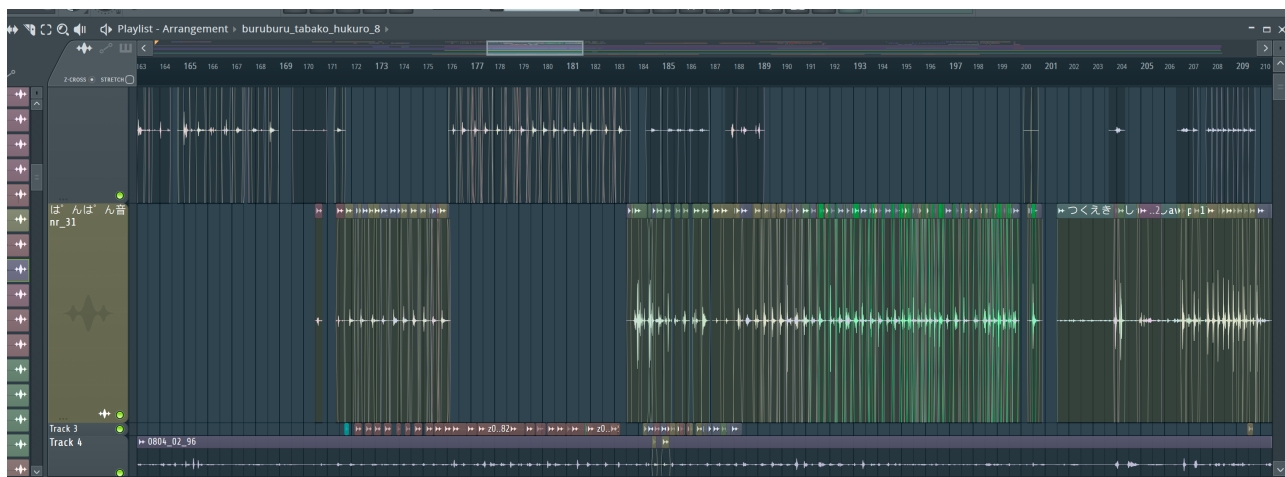
して、このままでは腰下で鳴ってる感じがあまりないので、こんどはEQで腰下で鳴った音源の分布にする。

さらにsendで床からの反響を喰えて完成。WaveArts PanoramaやDearVRなどのプラグインがリフレクションだけ出力といった事ができるので利用しない手はない。

録音すりゃ楽とかいう人もいると思うが、あいにくどうしても腰下真ん中定位にインパクトを集中させることが出来なかった。

どうやってもほんの少し両尻の着地に差異ができて横にズれるんだ。柔らかいかつ微妙に重いものだから制御が本当に難しい。

ほいでもってこんどはそんな音どもをFLちゃんにてシーケンス。
こればかりは手作業。



コツとしてはセリフの波形の立ち上がり、もしくはその少し手前。腰が当たって喘ぐ。当たる前から喘ぐと不自然になる。

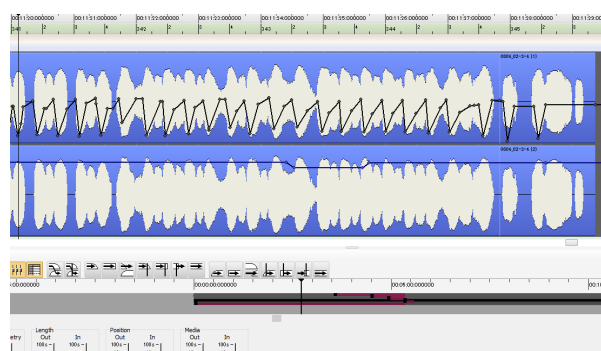
場合によっては波形のピークと重ねるのもありだが、基本的にはちょっと前。そういう風にやっとならば概ねのケースでおかしくはならない。

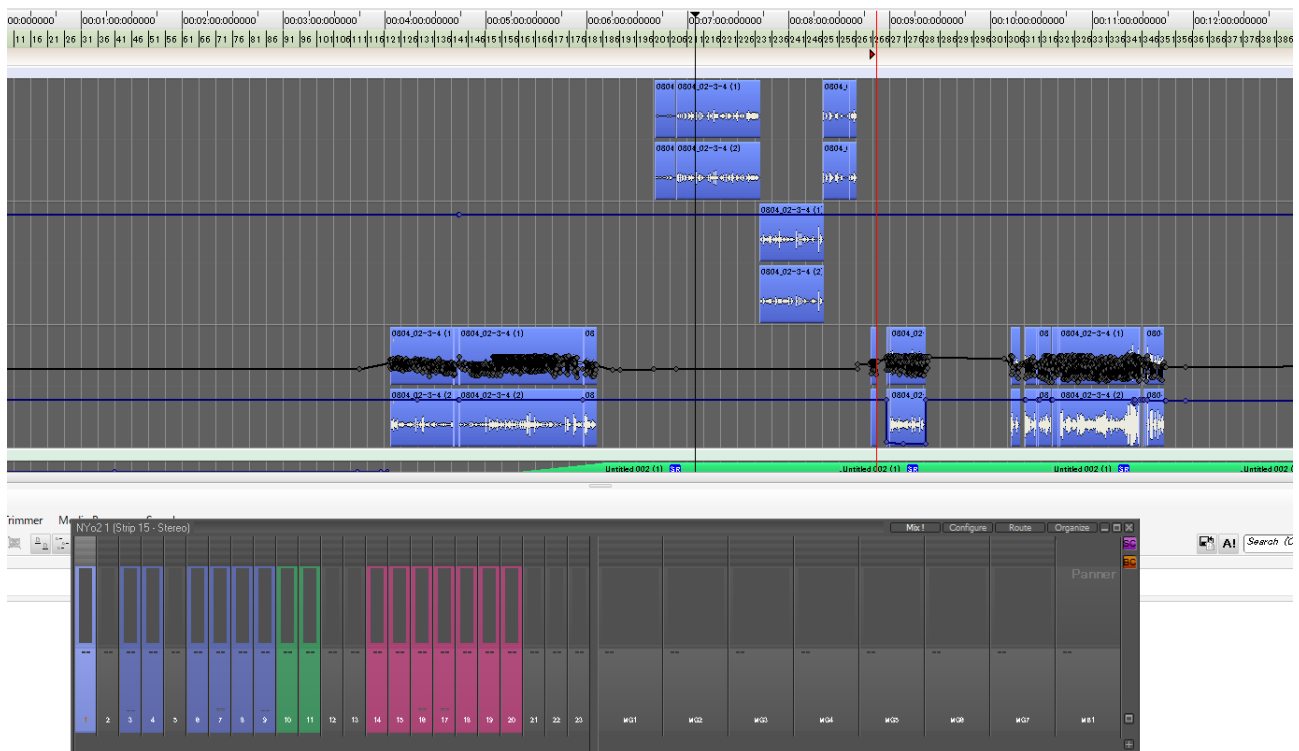
今回、せっかく肛門なので腰を引いた際にキュッと締まってまとわり付いたり、粘液が弾ける感じの音を入れてみた。

バイノーラルマイクの前で演技するさい、実際の立ちバックとはちがうというか、自分の頭も動かし相手もアッヘアッヘしておるので頭が近づいたり離れたりする。

これをもし演者にさせようとした場合おそらくは断られるし、可能であっても再現性を増すためにテイクを重ねたり大掛かりな装置を使ったりしなければならず、

終わる頃にはリポDのCMのようにになっているに違いないのでそういうオートメーションをSPATで書き込んでいる。





まるで陰毛が絡まっているかのような箇所がそれである。

キス音については今回、唇を重ねてお互いの唾液を舌と舌でニョゴニョゴ絡め合う感じにしたかったので

かの仔さんに断って頬にマイクを当てて口の中の音を録ってもらった。

使用マイクはNevaton MC59マッチドペア。

EUドメインのわりにはサンクトペテルブルクから送られてきたのは謎だ。

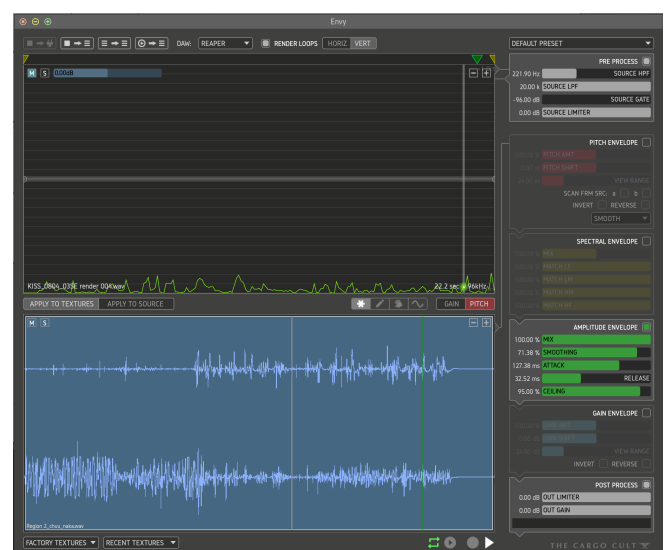
音的にはどことなくゼンハイザーMKH8020。使用感もゼンハイザーMKH8020。

したがってライコートのもこもこさえ装着してしまえばフィールドレコにぼちぼちよい。非常に小さいし。

これをキス音に同期するわけだが、思ったより左右に暴れてしまっているのので上記のStereoShaperで幅を狭めたのち、The CargoCult ENVY 2というソフトでタイミング合わせ。

このソフトについてはKrotosのReformerみたいな音Aのタイミングで音Bを鳴らすといったものだが、マッチEQやタイミングのエンベロープ、ピッチシフト等の加工もできる点がよく、愛用している。

以前はProtooolsのAudioSuiteでしか動いて



くれなかったのだが、現在はスタンドアロン&ProtoolsそしてReaperで動くように。

あとはRXでEQや、出来てしまったやかましい部分を消したり引っ込めたり他の音に置き換えたりしつつ完成。おおよそうまくいったんじゃないかと。

これについてははじめてやった。

あとはプレイ後半のA2M。ATMともいう。**銀行の話を必ずする奴**がいる。

アストゥマウス。ケツから口へ。洋物の謎の1つ。なんであいつら平気なんだ？

昔やったことのある人に話を聞けたのだけど、翌日目を覚ますとノドに大量のタン（=菌やウィルスと死闘を繰り広げたヒト組織の残骸）が絡んでいたような。

あとは風俗嬢の肛門舐めたら病院送りみたいな話もボチボチ聞くし、絵的にはすごく好きだしやったら興奮すること間違いないのだがあんまり実際にやるプレイでもねーな。

実際にやる...で思い出したが

だいたいプロでも素人でも恋人でも女の人と遊ぼうとするとお金ばっかりかかるだろ？そして女の人と遊べるようになるまで投資がいるだろ？そしてうちには音響機材とかああいうソフトとかいっぱいあるだろ？

そういう点、諸君らは僕を信用していいよ。

そして玉枝と遊ぶさい、こちらが払おうとしない限り基本的には**無料**で遊んでくれるからいいよね。

しかもくさい。くさいし趣味も絶対合わないから他の男が手を出さない。

そして諸君らがどんなに出不精でもコイツが輪をかけて出不精だからそのことについて咎めたりしない。

すばらしいだろう。

あげないよ。俺のところの子だもん。

ところでリポDのCMっぽい感じで思い出したが、汗だくになってる女の人、とても良いと思うんだよ僕は。服を洗濯してあげるよとか甘言を弄して入手したいところだね。**スウーーーーーッ♡**

んで、年末にやってる警視庁24時なんかみたいな番組で顔にモザイク掛かって全国デビューだな。

トラック3

このトラックのテーマ「土管っていいよね」

2つにスプリットすべきかそうでないか非常に悩ましいトラック。

した場合エロだけ聞きたいときに有効なのだが、非エロがなんだか薄味になってしまっってよくない。

じゃあこうしよう！エロパートが始まるところにマーカーを打っておいたからエロだけ聞きたい人はそういうのに対応したプレイヤーを使うとかAudacityなんぞのエディタで切るとかそういうことをするといいよ。

いま全てのトラックを終えるに玉枝にはやや露出癖があるように思う。

まあそれはそれで素晴らしいことだがろくな場所でセックスしねえなこのカップル。

たまたま土管が近所にあり、時々乗ったり中に向かって叫んでみたりしていたのだが、ちょうどいい塩梅のアイデアが浮かんだのでシチュエーションとして利用することにした。尚、土管が欲しくなって丁度いい値段のものも見つけたのだが、置き場所がないために諦めた。

電話がかかってきて声がドア越しになったり、部屋の中をがちゃがちゃかき回したり、外を歩いたりフェードアウトを経てエロパートへ。

電話かかってくる際、差分の方を聞いていただくと分かるのだが、これは予め収録された定位ではない。

バイノーラル録音はただちにリアルな定位が得られる優れた手法ではあるのだが、モノラルとの互換性がDAWの基本機能だけでは皆無に等しく、言うことを中々聞かない子でもある。

LRをLLまたはRRと、片チャンネルをもう片方のチャンネルにルートする場合、右向きに喋ってる質感で真ん中に来ちゃうので始末が悪い。絵で想像すると音割れポッターの真ん中から反転して左右対称になった顔を想像するのがいいか。

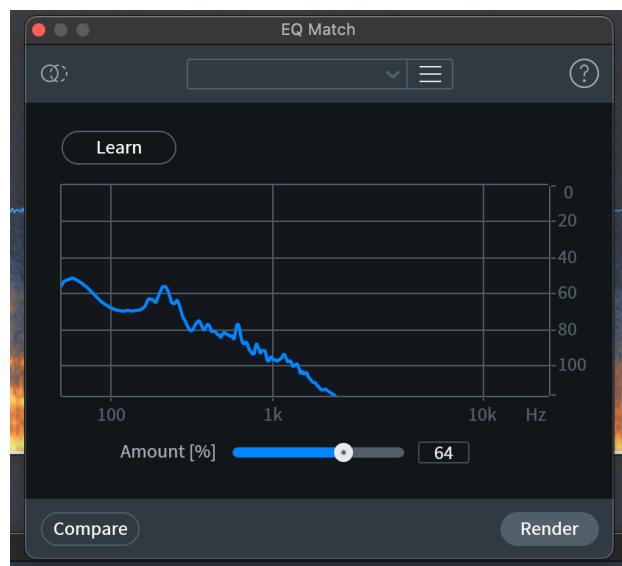
なので、正面向きの音なんだけどバリバリ違和感。L+Rにしたりした場合、今度は左右の到達速度の遅れによりコムフィルタ発生。**ギャア**。

よってルーティングマトリクスとイコライザとディレイとの戦いになる。あると便利なのは**マッチEQ**というやつで、正面向きに収録された音声データから周波数の分布をキャプチャして然るべき音源に適用する。

RXのAdvanceとか、同社のDialogue Matchなんかに搭載されている。

プラグインとして使う場合はNugenのSEQとかVoxengoのCurve EQがよいか。SEQにはステレオモノラル限定のSEQ-Sという廉価版もあり、正直こっちで事足りる。読み方はどう見ても**セックス**。

そしてSpatやらその他パンナーやイコライザ、ルームシミュを駆使しつつ奥行きを出すのだが、最終的には矛盾した響きがなけりゃいいのでいじってりゃそのうちよろしい感じのものができるのであんまり気にするほどでもないかもしれない。



そして玉枝と部屋を出て歩く。

ぶっちゃけると僕はフェードアウト→フェードインで場面転換をいれるのがあんまり好きではない。

舞台が暗転ばかりしている劇がタルいのも同じこと。精々3トラックに1度までである。90年代の不人気アニメじゃねえんだから。

雨が頭に当たる音は録音ではなく、SoundParticlesというソフトでインパルスを元に生成。大きくて短いチツミたいな音がランダムに円形の面に広がる。のちのちのトラックも出てくる。それをAmbisonicsというフォーマットで出力の後、ルーティング用IRと頭部伝達関数を畳み込んでおしまい。

土管に幼い頃から憧れはあった。

前から見るとどうなってるのか謎である男の自慢話を聞かせいやイタリア人配管工が潜って金貨を拾うなどそういう世代だ。成人男女2名が入って大丈夫かつ男にまたがって背伸びをすると頭をぶつける土管、直径1m程度想定。

そして雨宿りに土管に入ってセックス！**アナルセックス！**

このトラックについては実は結構煮え切らない思いあり。

前半の編集完成度は**正直、気に入らない**。

そしてシーンの切り替えばかり入れたらPyramixのDXDプロジェクトファイルの制限に引っかかった。

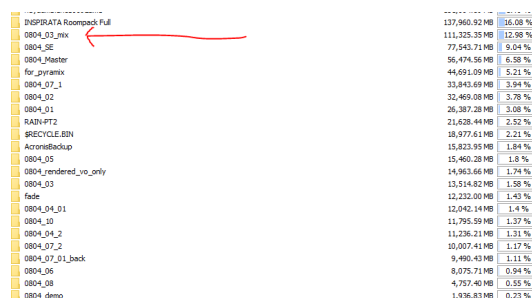
困ったことに352.8kHzという巨大なサンプリングレートを32トラックまでしか使わせてくれないのでなかなかどうしようもない。最上位エディションでもこの体たらくだ。

もしこれ以上の事をやりたい場合、もう一台買ってRavenna経由でSync打って使うのが良いのか。

というわけで仕方なくピンポン録音（今の言葉でいうとバウンス）で32トラック作ってはステムにまとめ32トラック作ってはステムにまとめで合計3回プロジェクトファイルを作った。

絵でいうと全レイヤーをまとめて一枚のJPEGやPNG方式で書き出すのにちかい。

後半もコンクリの土管に服が擦れる音やはいるときの這って移動する音、様々な理由で実現できなかった音どもがいっぱいある。入れたら入れたでやかましくなったとかそんなものもある。あとこの音声の全体に**足音が苦手**という僕の弱点が遺憾なく発揮されている。



INGPRATA Roomcaddy Full	137,960.92 MB	16.08 %
0804_03_mix	111,325.35 MB	12.98 %
0804_06	77,543.71 MB	9.04 %
0804_Master	56,474.56 MB	6.58 %
for_pyramix	44,551.09 MB	5.21 %
0804_07_1	33,843.69 MB	3.94 %
0804_02	32,469.08 MB	3.78 %
0804_01	26,387.28 MB	3.08 %
RABINPT2	21,635.44 MB	2.52 %
\$REC/CLE.BIN	18,977.61 MB	2.21 %
AcronisBackup	15,823.95 MB	1.84 %
0804_05	15,460.28 MB	1.8 %
0804_rendered_vo_only	14,963.88 MB	1.74 %
0804_03	13,514.82 MB	1.58 %
fade	12,232.00 MB	1.43 %
0804_04_01	12,042.14 MB	1.4 %
0804_10	11,795.59 MB	1.37 %
0804_04_2	11,236.21 MB	1.31 %
0804_07_2	10,007.41 MB	1.17 %
0804_07_01_back	9,490.43 MB	1.11 %
0804_08	8,075.71 MB	0.94 %
0804_09	4,757.40 MB	0.55 %
0804_demo	1,936.83 MB	0.23 %

だいたいこのトラックだけ妙にPyramixが固まる事が多くて、なんか呪われてんのか？主に**バックンフラワー**とかそういう土管に住む者に。でもまあ、形にゃなったし良いか。

したがってこのプロジェクトのフォルダだけ妙にでかい。

トラック 4-1

このトラックのテーマ「眠るためにはつまらないことをきくのが最適だろうという
目論見」

さて、寝息というトラックは得てして面白くない...というか、一緒に寝入るためのトラックであって面白かったら眠れなくて困るわけで、あえて誰も興味なさそうな話をさせた。

コリン・ウィルソンの大きな本については超常現象の謎に挑むという本。

けっこう小中学校または図書館がこぞって買ったおかげでそれが中古市場に結構流れていていい値段で手に入る。

内容に関していえばオカルト話のまとめ、ところが**コリンの野郎が監修しかしてないために懐疑的見解もちゃんとボツらず載っており**、割とバランス良く纏まっているいい本だったり。もう絶版なので気になる人はそのへんの中古屋で入手すること。

もともとは洋書だったせいか日本の事例はあまりなくUFOのチャプタが2回も入ってたりするいかにも90年代アメリカな作りの本ではあるけれど、豊富なカラー写真とイラストで見飽きない。通好みの渋い事例も載っている。
ってどうだ、中々興味ないだろ？さあ眠くなれ。

録音に関していうとあんまり特筆事項はなし。

同人音声に必要なものは布とドアと足音という三種の神器を守るかの如き構成。

ただ、普通の寝息のみのトラックでは編集してて手抜きが許されるというか、何精々ループする為に前後ろの間隔をいじる程度のことしか出来なかったのだけど、せっかく自分で作るのだからそれ以上のことをやってみたかった。

なので、寝息にシンクロする衣擦れを入れてみた。



チェーンもタイムラインも非常に簡潔なものだが、声のトラックをサイドチェーンでトリガーし、Shadeのエンベロープフォロワを使ってボリュームをいじっている。

つまるところ、寝息が鳴ると同時に衣擦れのトラックが持ち上がり減衰とともに小さくなるという感じだ。

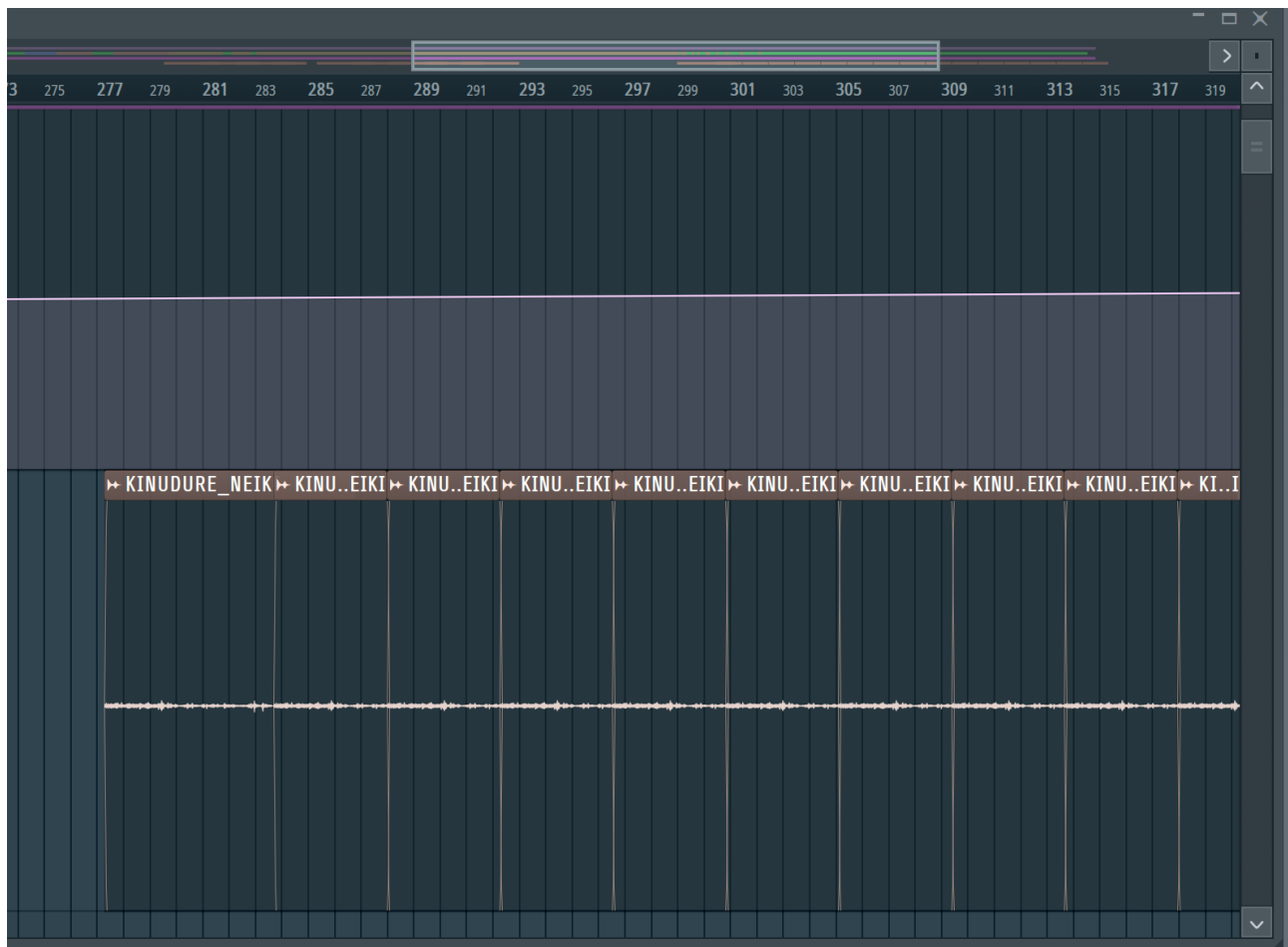
パラメータに関してもサイドチェーン入力を受けたフォロワーがアウトボリュームにアサインされているという非常に簡潔なもの。

あとはPanagement、これはハース効果と高音にパンのエンファシス、そして距離による高音の減衰フィルタが掛かったパンナーで、定位を調整する目的で挿入されている。

バイノーラル収録された効果音にバイノーラルパンナーを噛ませてしまった場合、耳腔を2回通る羽目になり大きく音質がかわってしまったりするのだが、これならばある程度音質を保持したまま定位を微調整できる。

距離によって変わるのは音の大きさと減衰フィルタのみなので、傾けたときに高音が出すぎてしまったさい、GUI上の距離を離してやると都合がいい。

あろうことか無料版もあるので探して落としておくと中々便利。



ちなみに8秒ほどのループサンプルを元にこの衣擦れはつくられているが、あまり同じ音がループしている風に聞こえないのは吐息の波形が全部違うせい。

この方法であれば、きれいに吐息またはその他の音にそって音を出せるのだが、セリフが入ってしまうとセリフにそって衣擦れが鳴る妙ちきりんな感じになってしまうのでそのへんだけ留意。

そこだけフェーダを下げておくか、カットしてフェードで丸めておくのが良い。この方法で前のトラックの玉枝が歩くときゴミを踏む音とかもいける。

玉枝の眠くなる独白から僕の眠くなる独白になるわけだが、ケツの穴にぶちこまれてはひんはひん喘ぐ大人になったって一向に構わないというか、誰しもが思い描いた未来に立ってない。

あの頃僕は**ロックミュージシャン**とかになりたかったんですけどね！

でも、**バンドを組んでくれる友達がいなかった**のでヤマハのシーケンサーを買って打ち込みをはじめたのが現在に通づる道だったりする。

人生はチョコレート箱のようなものだ。

安っぽく軽薄で誰も好きじゃない不完全な贈り物。贈り返してもまた別の箱が返ってくるだけだ。だからTVを見ながら他に食べるものがないときに無心で食べている。

得体の知れないホイップミントのゴミから抜け出せないのだ。

もちろんピーナツバターカップやイングリッシュタフィーを引き当てることもあるがすぐになくなってしまいうし、すぐに味も儂く消えてしまう。

結局の所、カチカチのゼリーや歯が欠けるようなナッツが入ったものだけが残ри、それを必死になって食べたところで役に立たない茶色の包み紙が入った空き箱しか残らないのだ。

こんなふうな事をいったのはX-FILESの悪役の肺ガン男だったか。4th シーズンの紫煙というエピソード。

自作の小説を出版社に投稿し、掲載が決まってようやく影の世界から足を洗えるぞと浮かれていたが、お調子者の出版業界人にラストシーンが挿し替えられていた事に落胆。

そしてフォレスト・ガンプのオマージュで、ベンチに浮浪者ととともに座り、たばこを吸いながら独白を行う。

特に同人音声の編集でブイブイ言わせてた頃なんかを思い出すに自分もそんなふうなことを考える。まあそんなに悲観することもないが。

ほらどうだ？眠くなるだろうこういう話は。

トラック4-2

このトラックのテーマ「手抜きができる寝息のトラックで一工夫二工夫するのはどうか？」

さて、寝息本編である。

さっきも書いたとおりサイドチェイン芸。



寝息後半で耳に吐息が当たる感じになるが、これはかの仔さんの息ではなく後付けである。

最初からあったほうがよかったが、さすがに声優側に負担をかけるのもどーなのかみたいな方針の人間なので後付である。

寝息で吹かれなんてNeumann KU100だとだいぶ接近して工夫しないと入らないと思うし、入れたところでそれは寝息として聞こえるような演技になるのかって話である。

レコーダを風が強い日に出すとボーボーとマイクに風が当たる音が入るがそういったもので再現している。

まず、そして息を吸うときは吹かれないのでその部分だけカットしておく。

そして例により吐息の波形を取得し、それで風の音を整形する。

今回は左耳だけの片チャンネルだけでかまわない。

そして波形が荒ぶってしまったときのためにコンプレッサーを「突出した波形を丸めて出過ぎないようにする」感じで掛ける。

そして整形された吹かれ音が聴覚上、吐息とジャストタイミングであることはまずなく、音のほうが多く風圧は遅いので吹かれ音を遅くしてやる。



これはVoxengoというロシアのメーカーが無料で公開しているSound Delayというエフェクト、やまびこ効果でなくて単純な延滞として機能するものだ。使いみちはたくさんあって、たとえば楕円フィルタを作るときやDAW側で補償できないレイテンシーの調整やなど。シンプルさがモノをいう感じで非常に使いやすい。今回は単純にタイミングの延滞だ。これを使うことにより一回書き出してズラして配置とかそういうことをせずに済むのでありがたい。

ああ、このトラック、全部寝息だからもう書くことがなくなってしまった。編集を請け負うさい、フェラと寝息は編集するところがあんまりなくてラクだったりもする。

今回、このトラックでやったことは楽っちゃ楽ではあるのだけど、上記の「楽なトラック」でちょっと凝ったことをやってみた。

なおこのコンプレッサーはなんですかというとFLUX::のPureComp。

10年間以上使ってるのでもはや右手の一部みたいなものといったら誇張だが、なるべく自然に聞こえる方向のパラメータが多いのでいじり方さえ覚えれば「いや、最初からこんなふうな音でしたよ？」みたいな理想的なピーク制御が出来たり出来なかったりする。

あとEQilibriumってなんですかっていうとイコライザ。

元Sonalksisのエンジニアが作ったのでどことなくSonalksis。

非常に柔軟な設計っていうか設定項目が痒いところに手が届く感じだったり、往年のアナログ機材のカーブが再現できたりとだいぶ良いのでおすすめ。

音質面でもなるべく自然とか、逆に精度云々よりも軽さが必要だとかそういったことにも耐える本当に素晴らしい設計。

むしろデジタルEQはこれさえあればだいたい解決するだろうみたいな良品。イコライザとしては割高なほうだがその価値はある。

中国TB TechのKirchhoff EQもダブル-ダブルビット深度の内部処理設計や柔軟性、頻繁なアップデートと手厚いサポートで大変に良いのだがEQilibriumになれすぎてしまってどうも手癖でEQilibriumっぽくいじってしまう。テヘペロ。

トラック5

このトラックのテーマ「おもちゃ作ったから見てくれ！」

ヤニカス玉枝の体に悪い吐息を左顔面に浴びているとムクリと起き出して作業。安眠パートなのかなんだかよくわからないトラック。

カチャカチャするものについては本物と10年以上前に使ってた**Radeon HD 4870のカバー**なんかを使用。

ビキニ鎧のねーちゃんが描かれている。誰も見ないのにな。（当時から言われていた）うちにはそういうものが山程あるので好き放題鳴らせる。

ラジオの声はMs.Xとしましょうか。

実は既に次回作（これが売れたらな）の台本を書いておりまして、その時発表する予定。

自分が楽しめる用に作った場合、無限に編集する喜びを味わうために自分でさえ難解なプロセスを組んで進捗がナメクジのように遅くなってしまうゆえに

首をながーくして、発表があるその日まで諸君らは謎に思っているがよい。謎だなあと思うのは大切なこと。間違いない。

内容の方はと申しますと**大鴉**という好きな詩の朗読。気になる人は翻訳なり原文なりを探すと良い感じ。パブリックドメインなので青空文庫にも多分ある。

朗読をバックに作業の音が聞こえるわけだけど、ハンダゴテ音についてはハンダゴテそのもの。しかしこれは思ったよりも音が出ない。

精々ホルダに差し込む音やスイッチくらいなもんだ。ちょっとやらかした。

でも威勢よくカチャカチャ言わせるやつのハンダ付けはおそらく妙に汚いんじゃないかな。あんまり人のこと言えないけどな！

キーボードやマウスはあんまり特筆事項なし。Protoolsのカンニング用キーボード（メンブレン式）とロジ。

作っていたのはこんな物品。

これは更に簡略化してるというか、音さえでりゃいいようなバージョン。



極めて雑な曲げ銅線をアンテナにしている上に液晶は実用上（録音する上であんまりいらん）ゆえ付けなかった。だいたい液晶の制御なんてあんまりしらん。

うごいてるアダプタなんかを近づけるとガリガリいう。

https://twitter.com/there_is_Q/status/1383724733879910413?s=20

FALLOUTごっこにうってつけである。

乳首ピアスシーンのイソプロパノールとはなんですかと人文学に進んだ諸君らに説明するとイソプロピルアルコールのこと。酒税が掛からないから安い。性質はだいたいエタノール。刺激性は強い。

いろんなものを洗ったり滅菌したりと割と便利なものだけど例によりよく燃えるとかそんな風に理解すればいい感じ。

乳首ピアスについて自分で実験してみたのだが、はっきり言って**驚くほど痛い**。根性があるやつ以外真似しないようになハハハ。**マジで**。あのリアクションは自分も同じことを言った。

タトゥーやピアス用の麻酔剤の個人輸入代行もあったのだが、これは果たして個人が使う上で薬機法に触れないんだろうかみたいな不安があり未採用。

そもそも麻酔って麻酔科医がいないとやっちゃだめなんじゃないっけ？

でも歯科医とか普通にソロで麻酔掛けるから物によるのか。

成分的にはリドカインという金玉の痒み止めとしてもありふれたものだったのでまあ、大丈夫だったのかな？

でも薬剤師でもなんでもない場合は手を出さないで乳首の壮絶な痛みに耐える方が賢明だろう。

なお、実際のピアッサーは本物の人体を挟んでいたのもっとくぐもった響きであったように記憶する。カラ撃ちせずに噛んだガムとかはさんどきやよかった。っていうか最近ガム見ねえな。

トラック6

このトラックのテーマ「**同じ手法はほかでも運用可能か？**」

寝ている人間にこっそり忍び寄り、匂いを嗅ぎながらオナニーがしたい！

...のは俺らの方なんじゃないか？

全体的に特筆事項はない。

うんない。

思い入れが訳ではないが手法も録音物も前の方のトラックで好き放題言った。

実際恋人ができたとして、もし寝てる自分をオカズにオナニーしてることに気づいたらどうする？流石にオナニーを中断させた場合、男たちの世界(ムワッ)の住人である我々にとっては大罪人である。死刑もありうる。

なので結局のところ寝たふりがベストなんだろう。

先程の寝息、サイドチェインで衣擦れをいれたわけだが、では喘ぎ声はどうかという割とうまく行った。

うまくいくのは部分部分だったりもするので、一旦書き出してタイミングをずらしたり、怪しい箇所は切り取ったり、切り取ったところを手動で入れたりなど。

水音についても割と同様の手法。

ちなみに玉枝の下の名前はミウだが、1999年頃に出たBUCK-TICKのシングルから名前をとった。曲もたゆたう感じでよろしいし**弾こうとすると簡単**だしでいい曲ですあれは。

トラック7前編

このトラックのテーマ「**ちょっと気温の高い日に女の子と並んで歩きたいよね**」

なんか飲むか聞いているそばからボタンを押すところが玉枝の正確というか僕の拘りという、他人が聞いたら単純に編集ミスみたいなことをやったのだが、おそらくつたわんね一な！

音響心理ネタである。音が前から後ろにパンする。

野鳥、自転車、車、ヘタクソなピアノ、室外機などが前から後ろに流れていくうちに海へと到達。

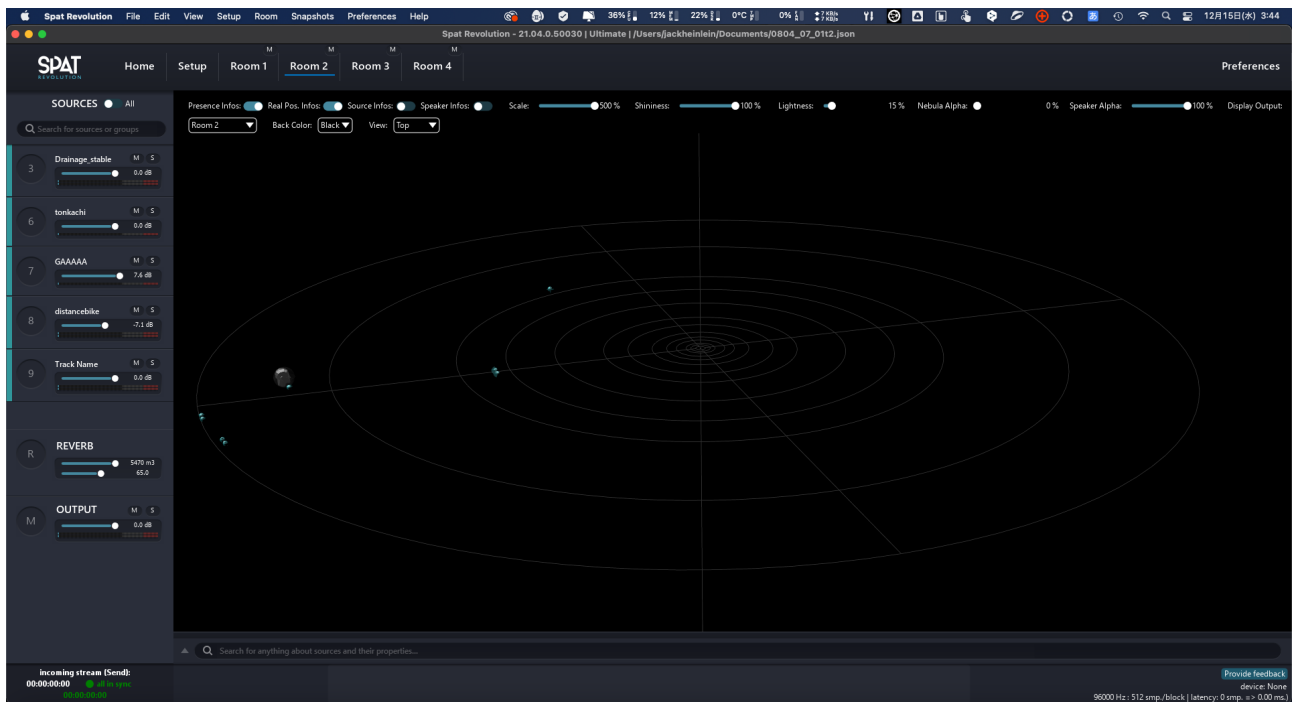
あとは今まで出てきた手法の大決算セールとでも言おうか、風に吹かれる音や奥へ行ったような音、あとは玉枝の挙動についていく鈴の音である。

エヴァンゲリオン世代なので謎に思わせたい。そういう点であえて説明しなかった。

足音については自分が今、あんまり活動できない状態ではあるので音源。実際に録ったほうが再現性の面では上なのだけど、どうしてもこうしてもうまいかない故、断念。この音声全体がそうだったりもする。

一度こういうのをやってみたかったというテーマ。

以前モデルハウス見学シーンなんかも作ったけれども、あれとはまた別というか、空間の鳴りをフェードしながら切り替えるやり方でなくてオブジェクトベースの開発環境があるのでそれにて行った。



僕の使ってるソフト、Spat revolutionは高いと言えば高い（上に知識があるやつ向け）のだけれども、最近ではサブスクもあるようなので興味があるなら是非。

あとはblenderなんかが意外とオブジェクトベースの音源扱えたり、UE +steamaudioなんかもかなり再現性高く部屋の反響シミュや半端に隠れた音を再現できたりするので無料がいい人はそっちにて。

というかなぜそういうエフェクトがVSTやらAAXなんぞのプラグインでないのか。ないから畳み込みなんぞで誤魔化してるのだが、あったらいいなあ。

尚このトラックのプロジェクトはFLStudioで効果音を仮配列し、一旦書き出してReaperでSPATに投げてPyramixに投げるとかそんなややこしい手順で作られている。

砂浜を歩くとき、いったいどんくらい音というのは遠くなるんだろうみたいなことをやってみたが、

理屈では分かってはいるものの中々思い通りの位置にこず、色々大丈夫かなあとか。

SofaファイルはB&K 4100D+耳介モデルのsofaファイルを使用。

個人的にはこれが一番自分の頭部伝達関数にちかいので愛用しているわけだが、

ところで収録用の飲料を買い忘れたのは内緒。



ちなみに一箇所、タンブラーから飲む音に空き缶のIRを畳み込んだドリンク啜り音が存在し、さあどれかな？当ててみよう。

正解者の中から**抽選で夢枕に立つ**。

あとは以前、Ci-enの方で書いたのだけど風に吹かれる音もサイドチェイン芸。風の音を入れる。その波形に沿って吹かれの音が持ち上がる。

しかし吹かれというのは風の音が聞こえてからはいるものなので若干送れさせる。

ここだけの話、次回作（があるならば）ヒロインはあ
の下手なピアノを弾いている人。

家からアンテナもでてるだろ？そういう話。

トラック7後編

このトラックのテーマ「今までのトラックの総括」

思ったよりも長くなってしまったトラック。

これを書いたとき、俺はよっぽらったりしていない。まじで。

15年前くらいまえに読んだ**竹村雪秀さんのエロ漫画のTake on Me**のラストシーン
みたいな物を作ろうと思った。

いかにもメガストアなハードものでドロドロギスギス&爛れた人間関係があるわけ
だが最終的にはなんか妙に爽やかで好きだった。歪んだ青春群像劇なんていうキャッ
チもこれから思いついた。

すげーいいエロ漫画なので是非読んでいただければ。ただ、最近の版はなんか修正
がでけえ。

味のり一枚やるからお前らで貼れよくらいのおおらかな感じにならんかね？まあギリ
ギリみえないのがよかったりもするんですが。

編集に関しては総棚卸しといった感じ。

ストーリーに関して言うと前編でなぜ玉枝が歩く度に鈴の音がしていたのかというそんな展開を作りたかった。

でも実際乳首ピアスに鈴なんかつけたら**服に引っかかって痛い**。試したから間違いない。

ところで同人音声の部屋に次ぐ、これを見てたら2022年度同人音声根性賞とかそういうので1点負けろよ。重いマイクやレコーダー持って腰まで10月の冷たい海にも浸かったしな。いいな？

やっぱりこれも丁寧にセリフに合わせて一個づつ合わせていく。

寝そべんなよのシーンで背景が仰向けの定位になる...のはいいんだがぶっちゃけ分かりづらいな。だって背景音にフォーカスして聞いているやつなんかいないだろ？特殊性癖以外では。

できることなら全てのトラックでやろうかとも思ったが予算と時間の都合で結局実現はできなかった。

最初アンビソニックス3oAで実現していたわけだが、やはりアンビソニックマイクは消費電力やカプセルサイズの問題からMEMSのものしか無く、音質的にあんまり満足の行くものがないために泣く泣く諦めた。em32 Eigenmikeなんかの良いモデルはやっぱり良いのかどうなのかと睨んでいる。

どっかで試せないかね？

S字結腸を超えると気持ちが良いという言説については実は非常に懐疑的。

腸って感覚器官じゃないとおもうんだが、色んな場所に良い旨書かれている。

おそらく拡張が好きな人間が何cmが入ったとかスポーツのように楽しんでいることに近いのだろう。

でもまあ、性に幻想はつきものであるのであんなふう to 喜ぶさまを描写した。

あと正直このトラックの淫語、いらんな。（雨が降り出すところ）

トラック8

このトラックのテーマ「まね」

お風呂シーン。某最大手サークルのリスペクト...オマージュ...とか横文字呼ぶとなんか気恥ずかしいしイモっぽいのでマネ。単純にマネ。

お風呂効果音は大昔に録ったお風呂キットを流用。
実際にマイクを沈めて破壊などというお金持ちというわけではないので畳み込み。
音Aに対して音Bと足して2で割ったの波形を出すちょうどよい手段。

やり方はかんたん。

風呂に生贄になるマイクを沈めてインパルス、短くてでかい音、またはスweepを
鳴らして録音。

それをMaxだとかPd等の自分で畳み込みが作れるソフトとかでbuffir~とかやるか
Altiverbなんぞに投げ込んでおわり。

どっちの手段もおそらく5分くらいでそれらしいものが出来上がる。後は微調整。

本来はアンプシミュレータやリバーブなんかに使われたりするのだけれども、壊れた
ラジオAの音質で新品のラジオBを鳴らしたいみたいなそういうときに役立つも
んかと。モーフィングをイメージするとわかりやすいか。

トラック4-2のラジオも概ねこんな具合で作られている。

実際ダミーヘッドを沈めたほうが再現性は高いのだけれども、まあこういう手段も
ありますよと。ちなみにあれを言ったのはジョルジョ・デ・キリコ。

で、ちょっと次のトラックの効果音収録のさい、試しにスピーカーを置いて自分頭
で録って見たらこれがまた↑の手法より再現性いいでやんの。

水面で減衰した音が耳腔に残った空気ですらに減衰したあの音になった。



そしてピストンフォンというマイクのダイヤフラムに気圧をあげてやって、お好みの音圧を入力することが出来る装置があるのだが、おそらく鼓膜に使用した場合もそんな感じなのだろう、水圧で押された耳腔内の空気が低いうなりとして入力された。その後の右耳から水が抜ける描写は後付け。副産物的に録れた音+イコライザオートメーション。

ここで断っておくと、**良い子は真似をしないでください**か。

水中は普通のマイクでやるともれなくぶっ壊れるどころか感電死する恐れがあるのであんまり良い子はやるべきではない。そのへんは何卒宜しくお願い。

ちなみにこの手の録音のさい、温かいお湯だと健康状態を損なわずに済むのだがマイクの方が健康状態を損なってよろしくないのでは冷水。

雪国生まれとはいえ厳冬期の寒中水泳はなかなか辛かった。

トラック9

このトラックのテーマ「**手コキの演技**」

手コキ。

もはや同人音声の編集をあまり請け負うこともないので「普段どおりの」感じの編集にした。

煽られながらコかれる。これ定石。

すべてが玉枝の口から語られた。

一緒に暮らし始めた設定なんかをつけようかどうしようかと悩んだが、セリフの中に織り込もうとしているうちに全然別の展開が思い浮かんできて気がつけばコイツは口をあーんと開けて射精を待ち構えていた。

注意力3万（普通の人65535）

なお、最後のフェードアウトはにぎにぎ動き回る2人をリスナー視点を上へ上へとやってみたらどうだろうとかそんな事をやってみたが、単に妙ちきりんになっただけだった。

だいたいなんだ？死んで天に登ってったってことか。あるいはアブダクションか。最後はこれから夏になりますよということで早めに出てきた一匹のセミを入れてフェードアウト。

薄暗くじめじめした淀んだ空気の籠もった部屋から開けた明るい空に触れる。

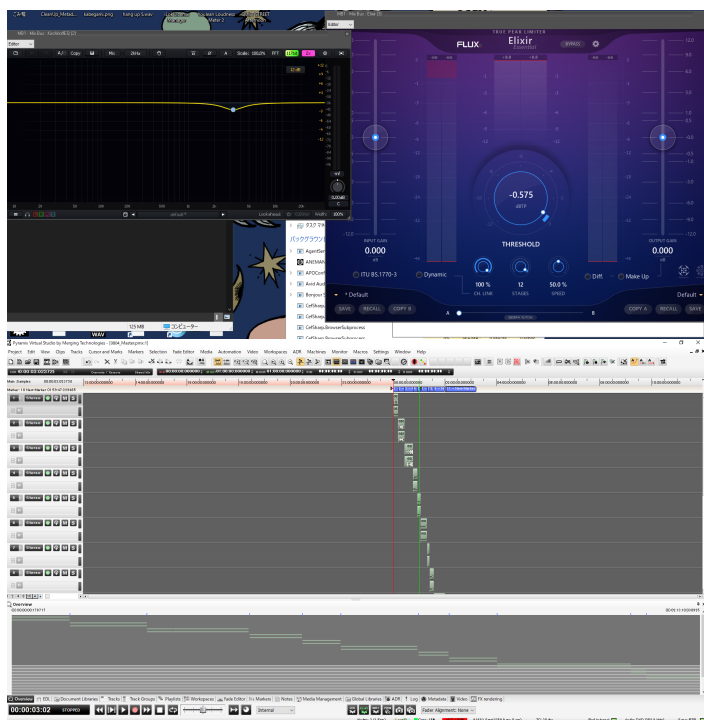
あと作中、玉枝はやたら上半身だけ脱ぐのは**見てほしい**から。

見せればやる気になってくれると思いこんでいるからというそういう設定があるんだがこれも割とどうだって良いな！

全トラック中、時々セリフが被るのは**俺の台本を書く能力がガバガバ**だから。これは大真面目に改善しないといけない。

尚、エピローグトラックのボツネタで事後、二人で添い寝していると急に停電になりバックグラウンドの機械の音が途切れ、例のUFO探知機がガリガリ言い出して部屋のモノがガタガタ物音を立てながら上空をウーーーーー...と低い音が通り過ぎてゆく（本人たちは寝たままで）とか考えてたんだが、案外ソッチのほうが良かったかもな。（実は途中まで作ってある）

マスタリング



あんまり特筆事項はない。チェーンも簡潔。聞きやすさを念頭に置いたアニメやゲーム準拠の音声作品の場合、コンプしたりラウドネス調整したりするのだがこの場合は無法地帯の自然界なのでそんなものはない。クラシックコンサートのマスタリングにおおよそは近い。DSDならば波形というわけではないのでサンプル間ピークはない。3.1dBくらいははみ出て大丈夫であるようだけど機種により対応状況がややしくはあるのでピークについては若干、手動で丸める形。

Wav版にしるDSD版にしる、音的にはミキシングの時点で完了したみたいなものなのでちょちょいと40kHz付近にローパス入れてマスターEQで3kHz付近を軽く凹ませてステレオリンクでピークを刈り取って352.8kHz 32bit FPで書き出し→DXDから48kHzにリサンプル→ディザ→24bitヘリサンプルといった具合。

ほとんど何もやってない感じの僅かな変化しかない。いちいちマスタリングで音作りはあんまりしない。

あとは両者foobar2kでタグ打ち。

このソフトの何が便利かって、音質ウンヌンは置いておいて音声ファイルをいじるのに妙に便利な機能が揃っているところ。

あろうことか他のソフトにドラッグアンドドロップ出来るので効果音ライブラリマネージャーとしてもいける。

ちなみに僕は何かを聞くときにTuneBrowserってソフト使ってます。

割と何もかもが行き届いてます。日本製なので日本語サポート有。

あとこれはこの作品に一切関係ないんだが、32bit FPの音声がよく売られてるけどあれはあんまり意味がないと言うか、確かに1528 dBFSのダイナミックレンジを扱えることは編集上、非常に有利なのだけど、32bitでも24bitでも波形の解像度は 2^{24} で1/16777216dB刻みだったりする。そもそも24bitのADC（オーディオインターフェースのアナログ波形を受けてデジタル波形にするところ。

マイク・ラインインプットのその先）から来たストリーミングをDAWが32bit FPというでかい器に24bitのデータを入れてるに過ぎん処理なので32bitで書き出したごときでは音質はよくなんなかったり。並盛の牛丼が大盛りの容器に入ってるのを想像すると良い。

32bit intだとまた別で 2^{32} で1/4294967296 dBという巨大な解像度と $20\log(1/4294967296) = 192.6$ dBFSのダイナミックレンジをもつ事になるわけだが、24bitですらオーバーキルである音響機器や人間の聴覚に対して更にオーバーキルである。骨も残らん。

試しに-140 dBFSくらいのホワイトノイズとかAudacityで作って聞いてみなさい。どっちかっつうと機械のノイズのほうがでかくて埋もれちゃうから。

っていうか16でも別にいいじゃん。内容を理解してシコることに巨大な解像度はいらんだろう。16bitの手コキが32bit intの手コキになると射精の快感持続時間が2倍になるかって言うとならん。

ではなぜ1bitとかいうハイレゾ音声をつくったのか。

それは趣味だから。

使用機材



-声の収録-

-マイク:

Neumann KU100

口の中用マイク:

Nevaton MC59 Omni Matched Pair

-アンプ:

Earthworks ZDT521/ Cranborne Audio
Camden 500

-AD/DA・モニタ（オーディオインター
フェース）

Merging Hapi w/ ADA8P AD/DA Card
Merging Anubis Premium

-レコーダ

SoundDevices MixPre-10T
Zoom H5
Zoom F4



-モバイル用オーディオ

Sonosax M2D2

-さまざまな音用マイク

Nevaton MC59 OMNI/Super cardioid
Zylia Pro
Earthworks SR40 /QTC40
DPA 6060/4097
sE Electronics sE8
SENNHEISER MKH8070

-ソフト

Merging Pyramix 25th Aniv. Edition
IMAGE-LINE FLSTUDIO 20
Cockos Reaper
FLUX:: SPAT Revolution
iZotope RX Adv.
The Cargo Cult Envy 2
Audacity
Cycling'74 Max

あと色んなプラグイン
頻出のプラグイン5種としては

DMG Audio EQUilibrium (ここの製品はとても良いのでおすすめ)
FLUX:: Fullpack & SPAT Revolution
Audio Ease Altiverb
The Cargo Cult Slapper & Envy2
Plogue Bidule

特別枠として **UVI Shade。**

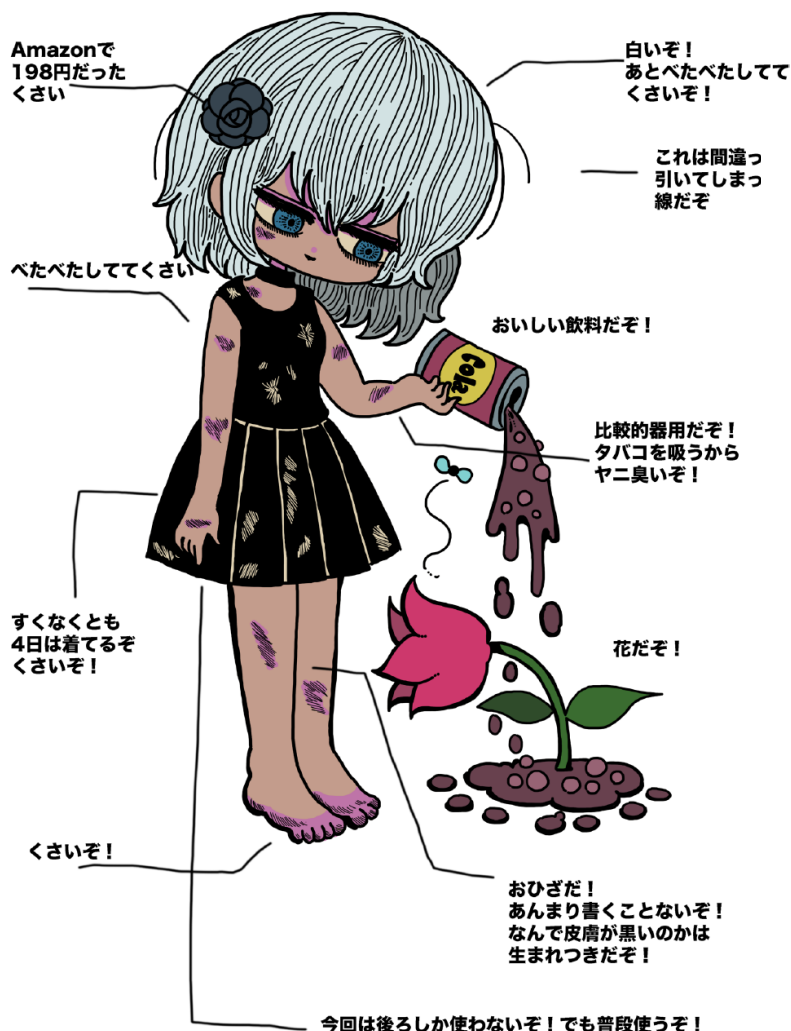
動くフィルタ。今回これで色んなシンクロする布とか風とかゴミを踏む足音とか作った。

※同じものが欲しい人はいちどに全部買うと家計が火の車なので儲かってからゆっくり揃えること

このあと台本を載せようと思ったら36どころではすまず、ページ数が膨大になったので分割。

設定資料に乗っていた図版（本編とやや異なる）

資料



きたない (仮) **台本**



※演技にはあんまり関係ないと思われる

X月α日のおてんき

12:00

13:20 14:00

17:00

19:00

トラック1—トラック2—| トラック3—————| トラック4,4-B

X月β日のおてんき

3:00

5:00

14:00

15:00

17:00

トラック5——| トラック6| トラック7—————| トラック8

総括

色々想像してほしいのであえてこっちにも玉枝の設定についてあんまり書かなかったわだが、作品についてはさあどうでしょう？

難解な編集を楽しみたいのでなるべく長く長く時間が掛かるように台本を書いた。
ああ、自分で自分の仕事を作ると楽しいなあ。そんな風に思った。
もう**実は音声の編集を長いこと受けたくなかった**のでそのようにしていたのだけれども、**やっぱり作るのは楽しい**で間違いない。
これからずっと、自分で自分の仕事を作るのが良いかなあとか。

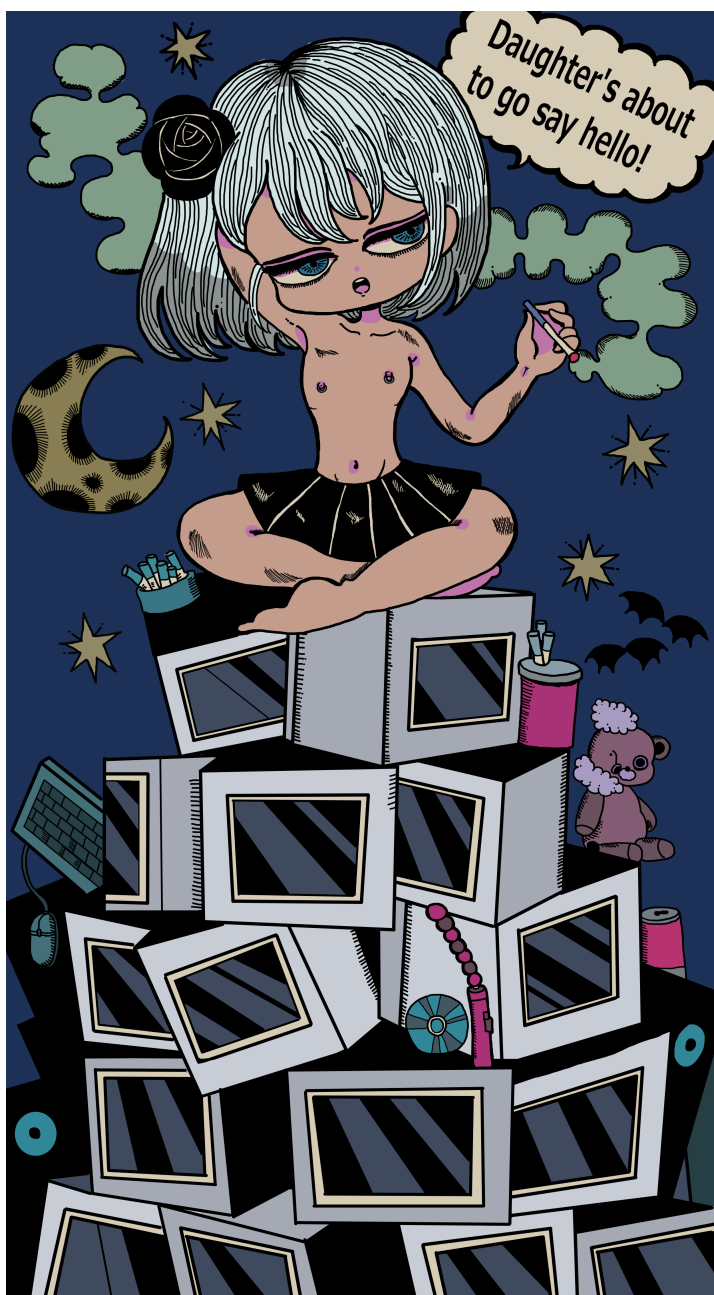
現在、体も精神状態もお世辞にも健康的とは言えず、お金がないから売っぱらった機材もあるし、前住んでた家と違って録音に必要な防音ブースもないし、行き届かないところも多くあったし、なるべくならちゃんとした環境で収録して挿し替えたい音も多くあるけれども、最終的には加工して使いまわしたり工夫してなんとかやりくりできたんじゃないかな？

台本については削ったところもいっぱいあるし、定位まちがってたり、客につたわんのか怪しい部分あったり、矛盾点（なんでアナルプレイ専門の玉枝がローションの値段知らないんだとか）とか、うっかり同じセリフ2回言ったり、責めオンリーだとなかなかあえぎ声一辺倒になりがちとか改善の必要あり。**ガー**。

それで良い作品になったかどうかはそこはお客さんが判断するところなのでなんともだけれども、少なくとも僕はこれを作るために色々試行錯誤と実験を行って、それをとても楽しんだ。それは本当。
この遊びが少しでも皆さんに伝わりますように。

今回はこの売れ行きによりあったりなかったりするわけですが、なるべくあったらいいなあとか。もちろん楽しいことをするために。

それではまた、次回があるならば、そのときにでも。
あと、Indesign覚えたい。こういう物を作るときのために。
タイトルがなぜあんなタイトルなのか言わなかったなそういや。
まあいいやそろそろページ数が危ないのでそれも次回作があるならば。



おくづけ

-文責

CrackerJaxx as Q

-イラストレーション

ヨシジマシウ 様

本編

声の出演:

かの仔 様

<https://www.otonadeya.com/kanoko>

ジャケットイラストレーション:

うにモン 様

<https://www.pixiv.net/users/2173572>

本文解説/PDF及びサークルアイコンイラストレーション:

ヨシジマシウ 様

<https://www.pixiv.net/users/2425495>

あと全部 CrackerJaxx

<https://supremeoverlordjabs.co/>

こんなことを書きたくないですが、本書の無断転載を禁じます。
僕だけならまだしも色んな人が関わってくれたので何卒。

Sé ende



♥ Quietude. ♥

